

# リニアを活用したまちづくりの推進について



リニアミナモ  
©岐阜県 / JR東海協力

令和 8 年 5 月 2 5 日  
岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会会議資料

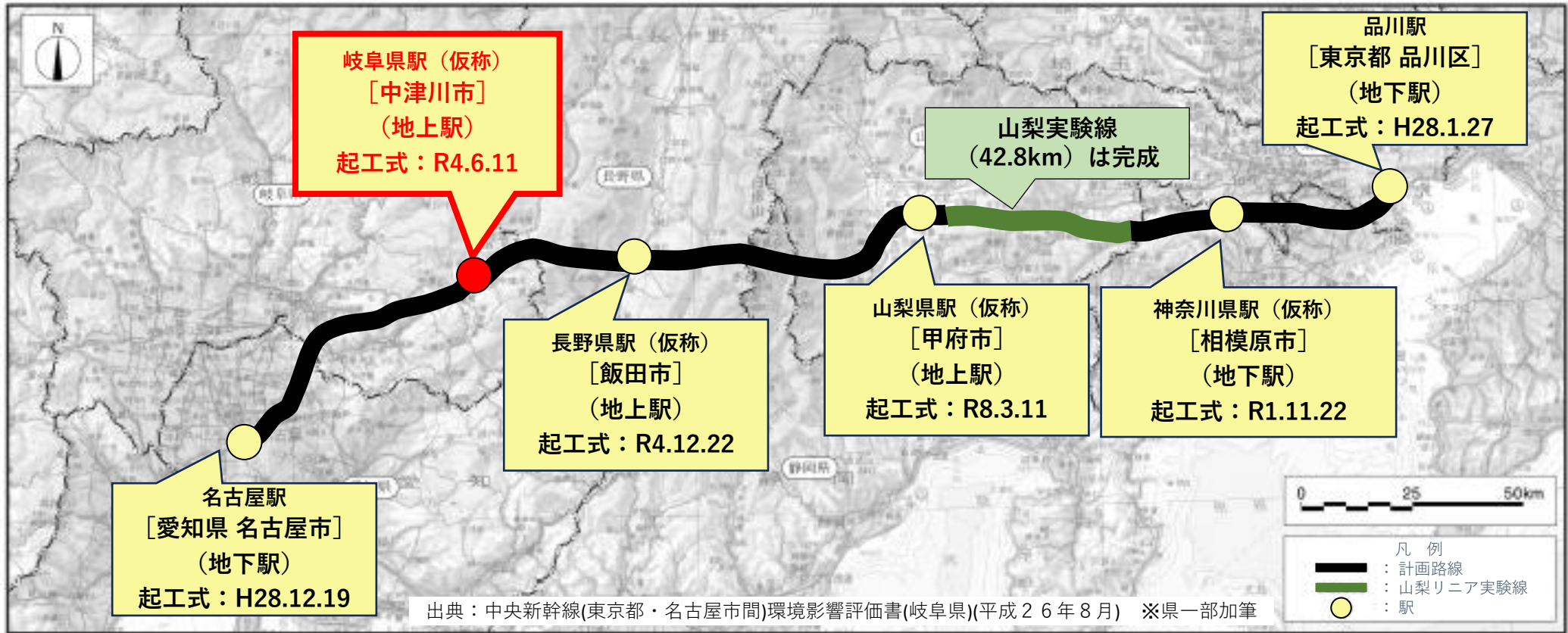
1	リニア中央新幹線の建設について	1
2	リニア岐阜県駅を核とした東濃・可茂圏域のまちづくりについて	3 4
3	岐阜県リニア中央新幹線活用戦略の改定について	4 4

# 1 リニア中央新幹線の建設について

## (1) リニア中央新幹線の概要

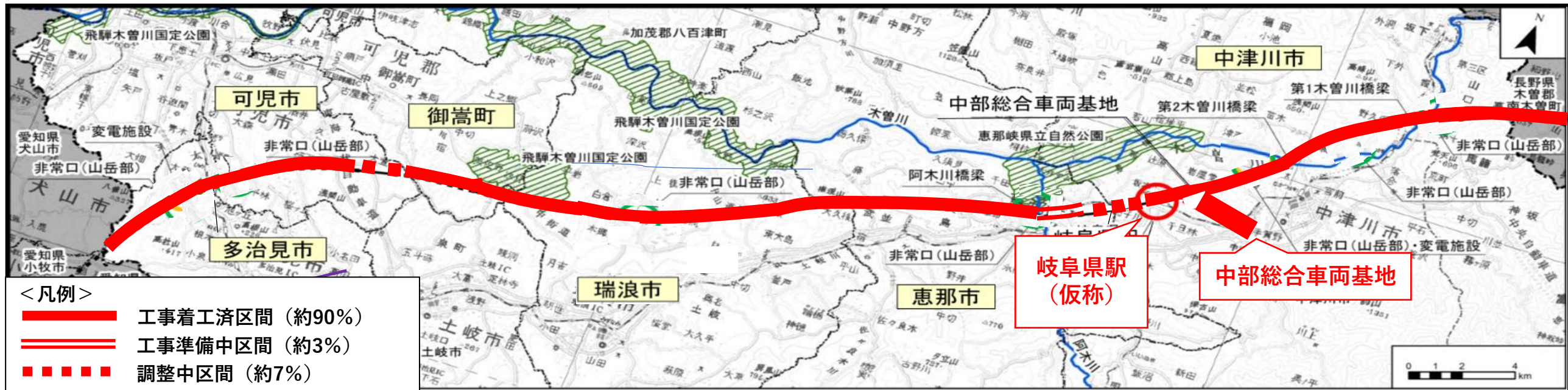
- 品川駅—名古屋駅間は全長 約 286 km、所用時間 40分程度
- 品川駅—岐阜県駅間は全長 約 220 km、所用時間 58分程度※
- 岐阜県駅—名古屋駅間は全長 約 66 km、所要時間 13分程度※
- 開業時期は令和9年（2027年）以降（令和5年度JR東海表明）
  - ・ 静岡工区では、静岡県とJR東海が水資源・生物多様性・トンネル発生土の3分野28項目について対話を行い、令和8年3月26日に対話が完了。今後、JR東海による住民等への説明や法令に基づく手続等が行われた後、令和8年中に工事着手の可能性がある
  - ・ JR東海は、静岡工区の工事着手後、開業まで10年はかかるとしており、早ければ令和18年（2036年）となる見込み

※品川駅—岐阜県駅間、岐阜県駅—名古屋駅間の所要時間は県の試算



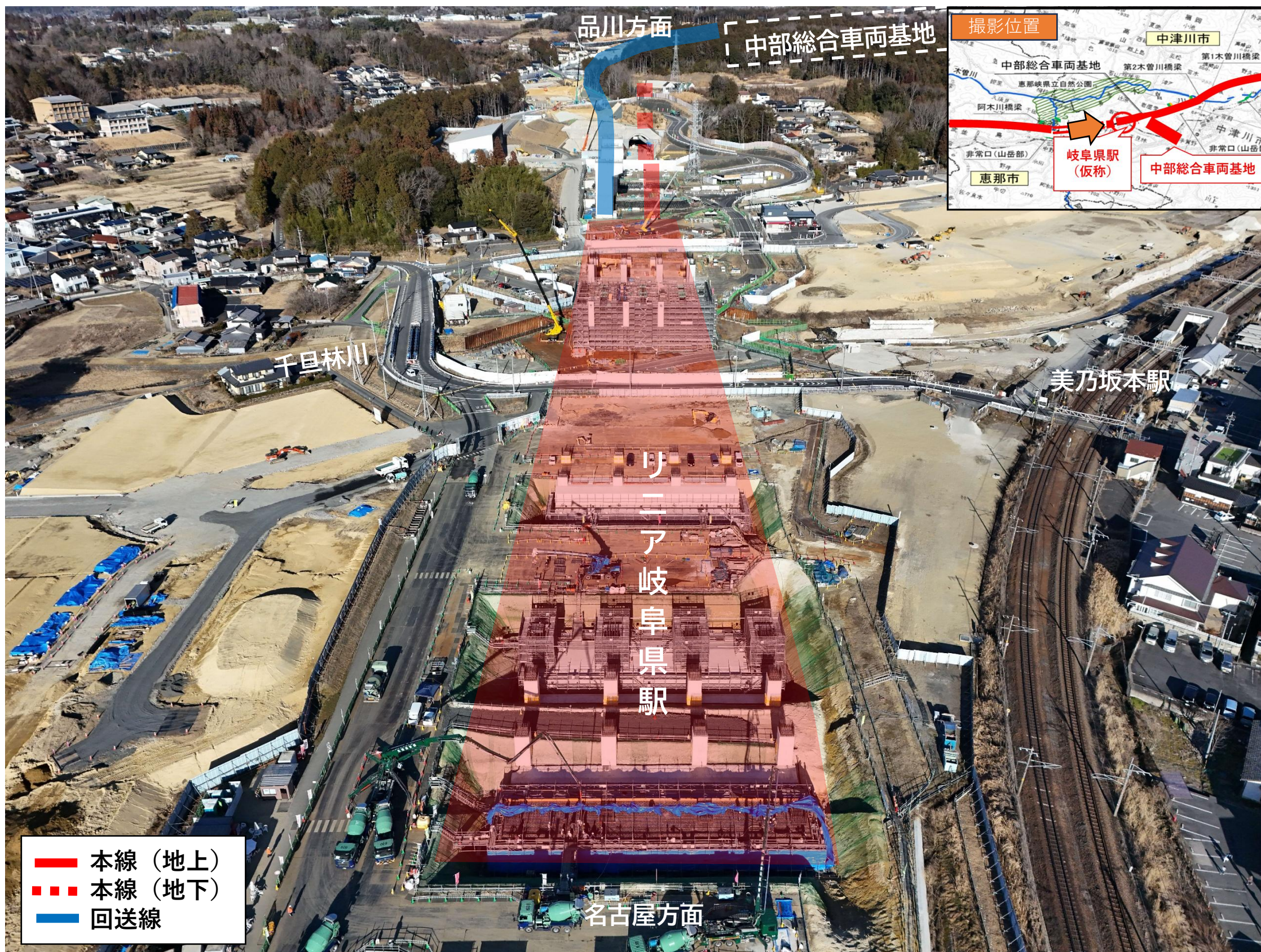
## (2) 県内工事の進捗状況

- 岐阜県内は、中津川市、恵那市、瑞浪市、御嵩町、可児市、多治見市の**6市町を通る**
- 県内路線全体（約55.1km）の**約9割はトンネル**
- 中津川市には、**リニア岐阜県駅**と区間で唯一の整備工場が付帯する**中部総合車両基地**が設置
- 県内工区の契約済延長は約93%、調整中区間は約7%



出典：J R東海ホームページ（中央新幹線（品川・名古屋間）に係る事業説明会の資料） ※県一部加筆

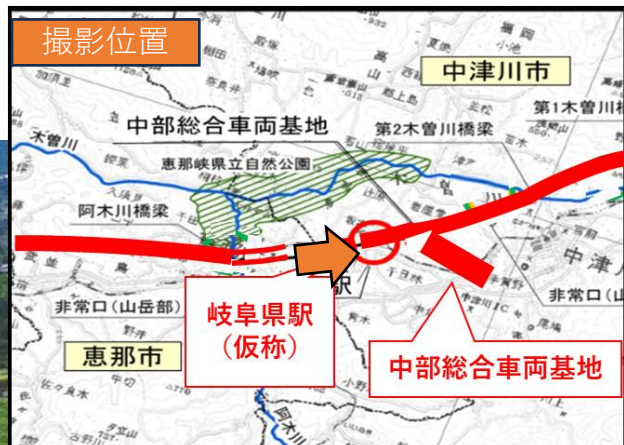
## (2) 県内工事の進捗状況 <リニア岐阜県駅ヤード 全景>







## (2) 県内工事の進捗状況 <リニア岐阜県駅ヤード 工事の変遷>



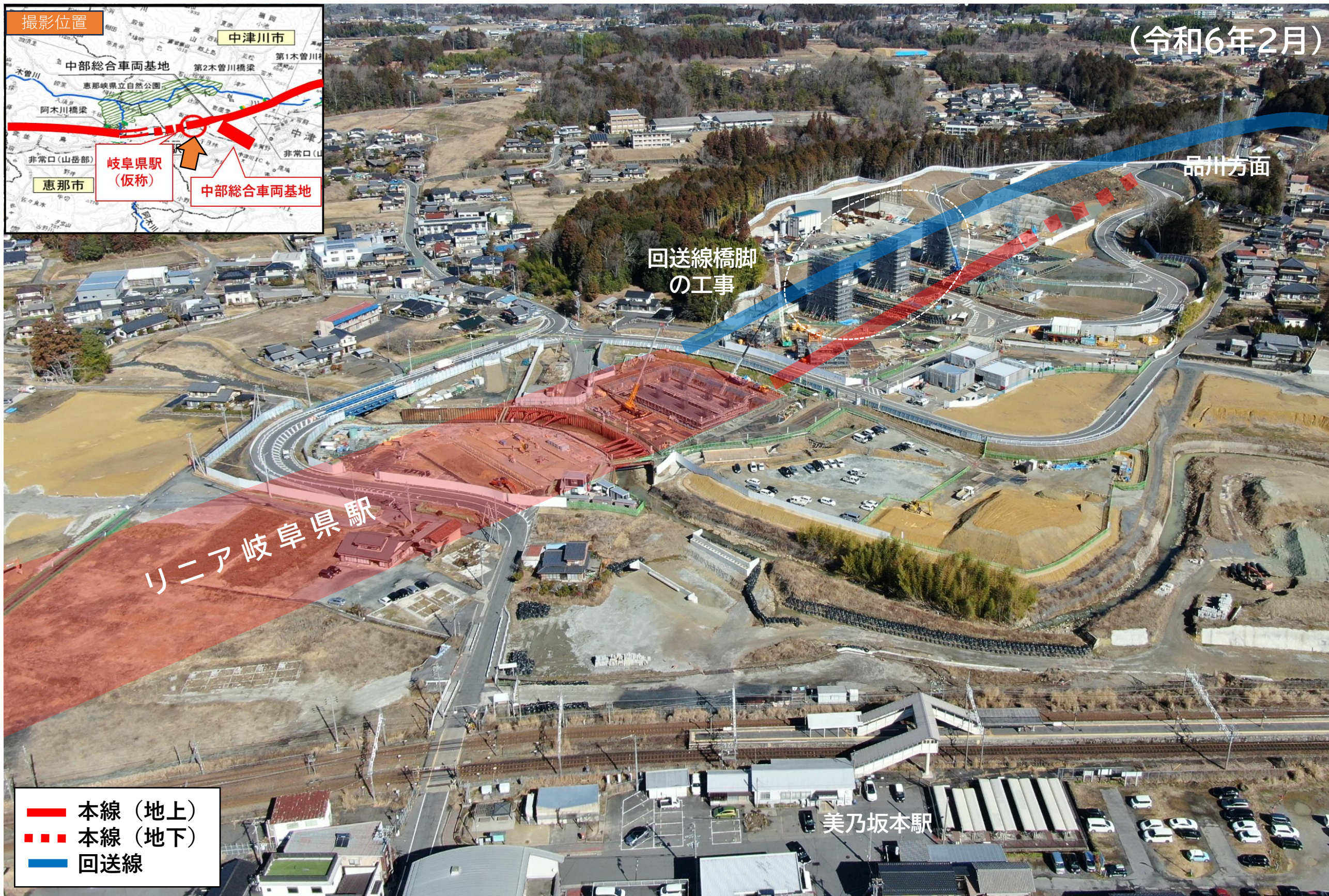
・ 令和4年6月にリニア岐阜県駅の起工式が執り行われ、駅の工事も始まる





## (2) 県内工事の進捗状況 <リニア岐阜県駅ヤード 工事の変遷>

(令和6年2月)



・ 回送線橋脚の工事が進展



## (2) 県内工事の進捗状況 <リニア岐阜県駅ヤード 工事の変遷>



・リニア岐阜県駅の駅舎の工事も進められる

## (2) 県内工事の進捗状況 <リニア岐阜県駅ヤード 工事の変遷>



・ リニア岐阜県駅の駅舎の工事が進展

## (2) 県内工事の進捗状況 <リニア岐阜県駅ヤード 工事の変遷>



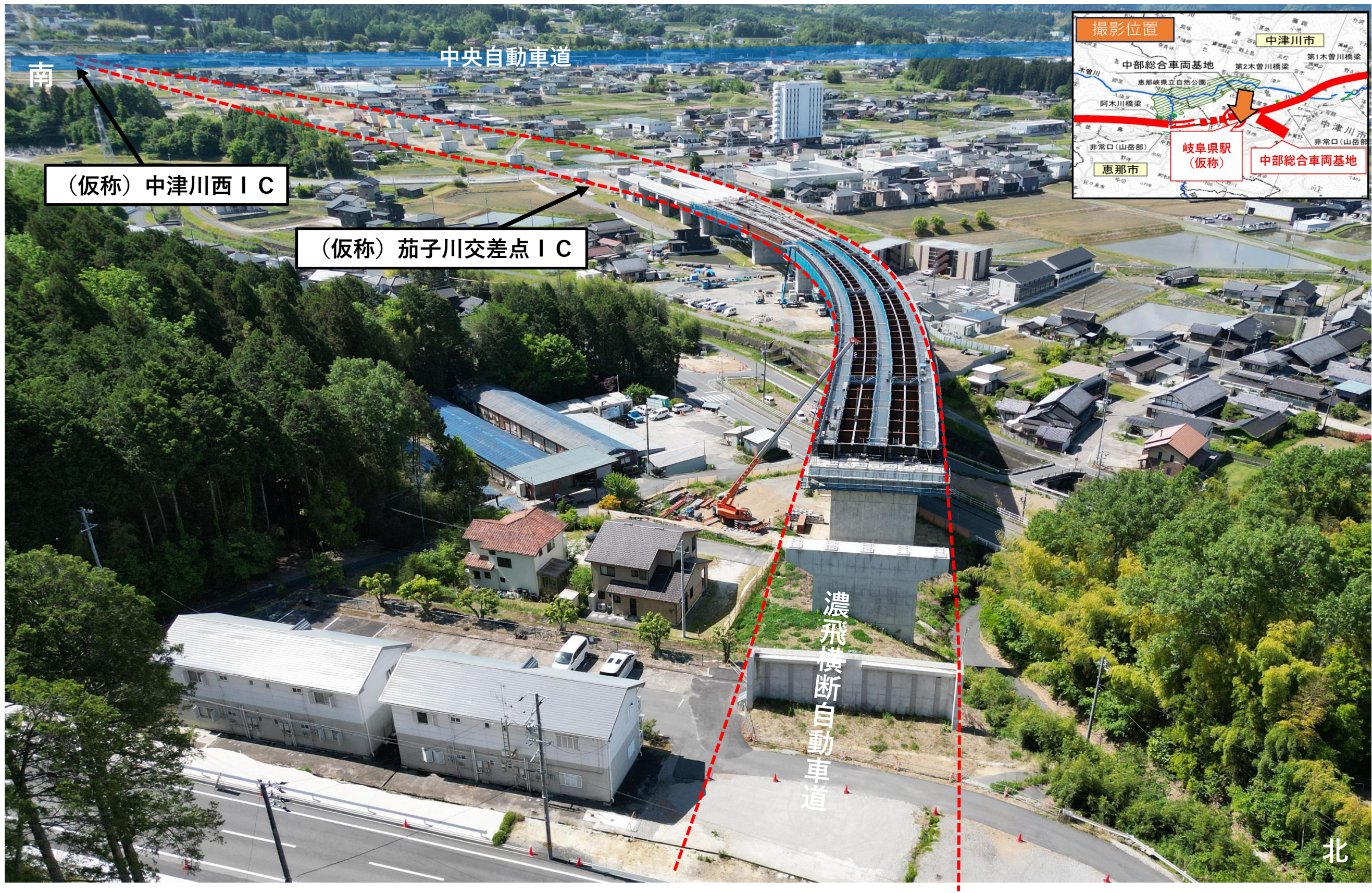
・ 直近の工事の状況

# (2) 県内工事の進捗状況 <濃飛横断自動車道 (仮称) リニア駅交差点 I C付近>



令和8年5月現在

# (2) 県内工事の進捗状況 <濃飛横断自動車道 (仮称) 茄子川交差点 I C 付近>

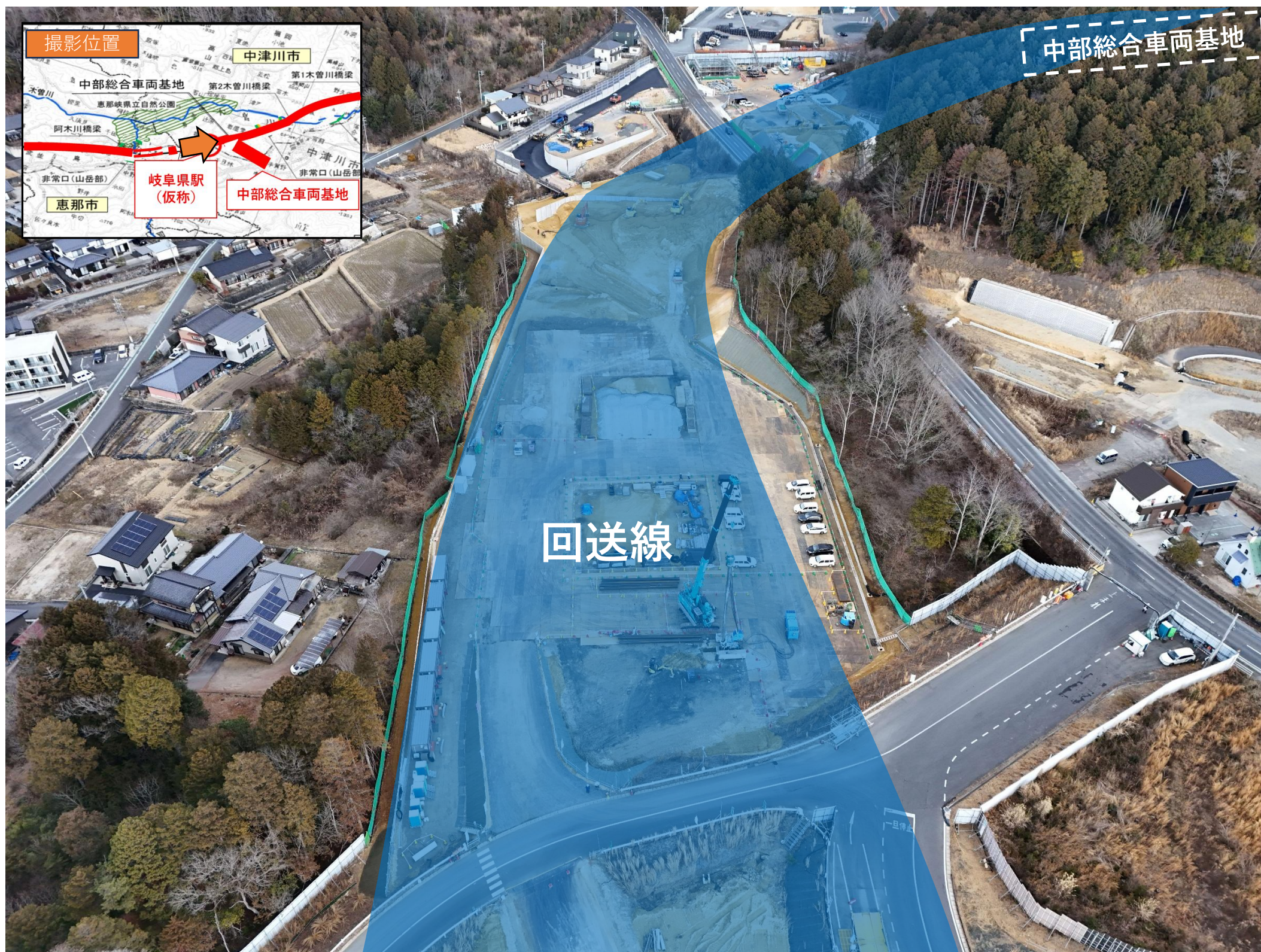


令和8年5月現在

# (2) 県内工事の進捗状況 <濃飛横断自動車道 (仮称) 茄子川交差点 I C 付近>



## (2) 県内工事の進捗状況 <回送線ヤード 全景>



©Central Japan Railway Company. All rights reserved. ※県一部加筆 ※令和8年3月現在

## (2) 県内工事の進捗状況 <中部総合車両基地 全景>



## (2) 県内工事の進捗状況 <第二木曾川橋りょう (中津川市)>



## (2) 県内工事の進捗状況 <長島トンネル (恵那市)>



©Central Japan Railway Company. All rights reserved.

※令和8年3月現在

## (2) 県内工事の進捗状況 < 藤川高架橋 (恵那市) >



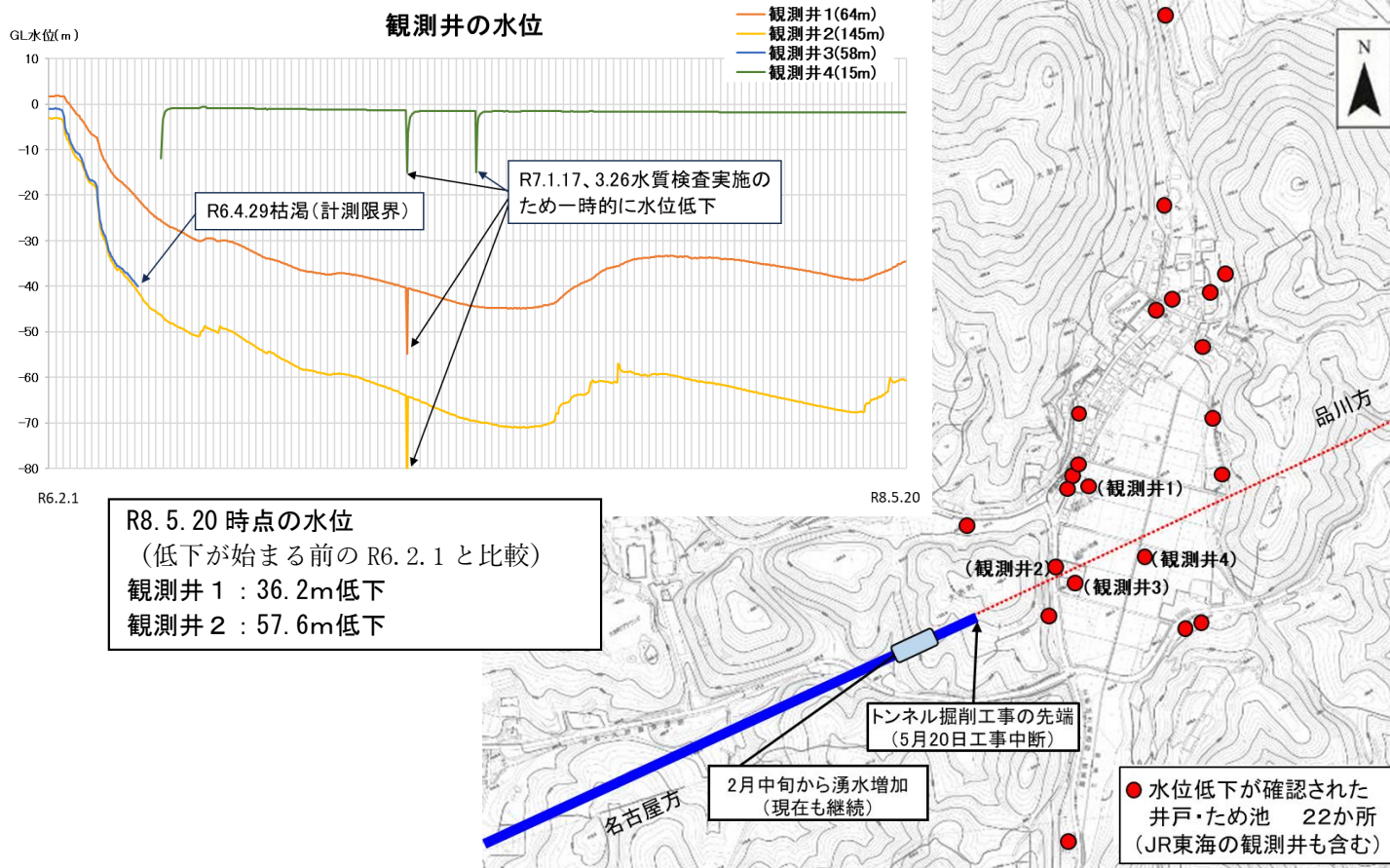
### (3) 県内での工事に伴い発生した問題

### 瑞浪市大湫町

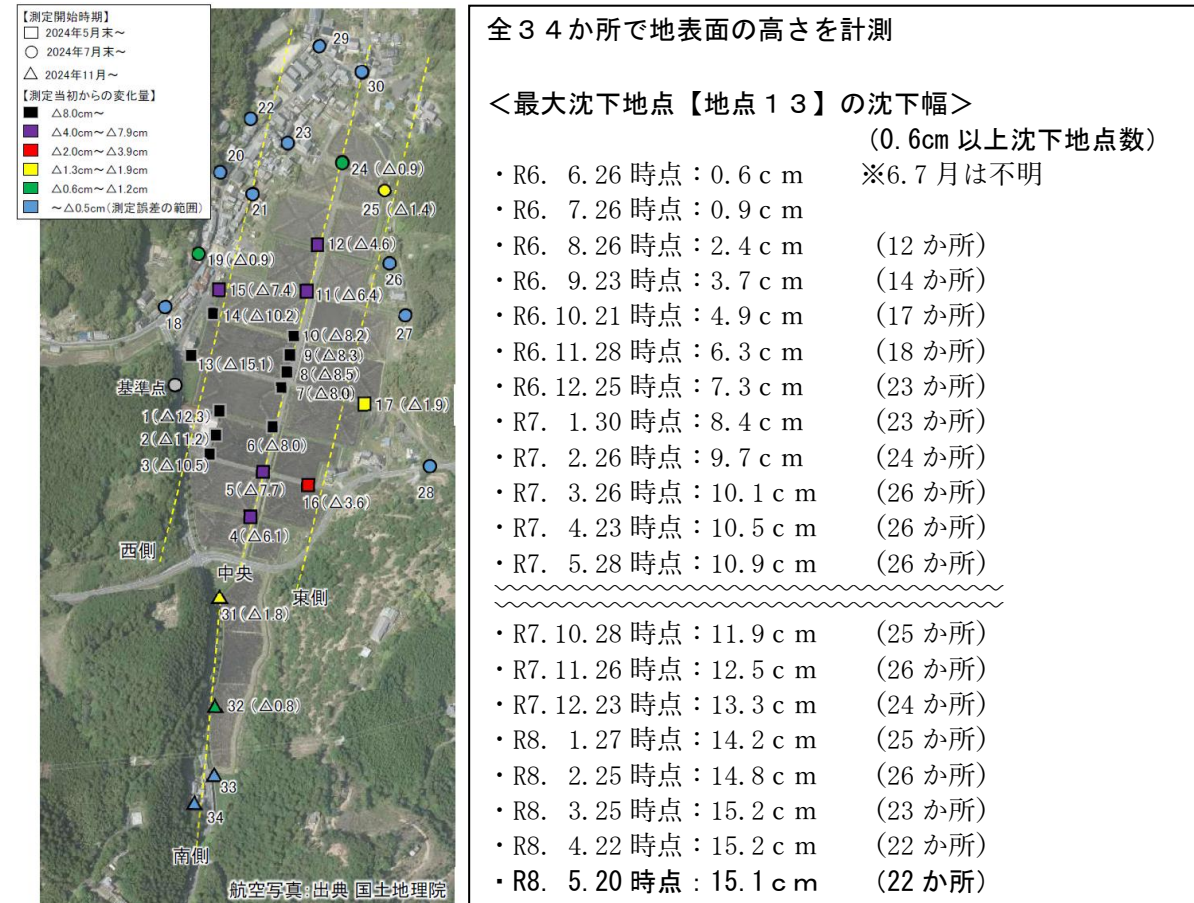
#### 【地下水位の低下、地盤沈下】

- 日吉トンネル南垣外工区（瑞浪市大湫町内）において、令和6年2月リニアトンネル工事が原因の地下水位低下が発生。同年5月20日以降、現在に至るまで工事を中断。同年8月には地盤沈下も確認され現在も進行中
- 岐阜県環境影響評価審査会地盤委員会をこれまでに12回開催し、環境保全措置の実施状況や再発防止に向けた取組等について審議
- 引き続きJR東海に対して地域住民の十分な理解を得るよう対応を求めている

#### 地下水位低下の状況（R8.5.20）時点



#### 地盤沈下の状況（R8.5.20）時点



## (4) リニア中央新幹線建設促進期成同盟会（全国同盟会）

- 昨年度は、令和7年5月にリニア中央新幹線沿線の10都府県などで構成されるリニア中央新幹線建設促進期成同盟会の総会を都内で開催し、リニア中央新幹線の早期全線整備に向け、一致協力して要望活動など強力な運動を展開していくとする総会決議を採択
- 総会終了後、同盟会会長である愛知県知事ら同会加盟県知事とともに国土交通省を訪れ、中野洋昌国土交通大臣に面会しリニア中央新幹線の早期全線整備に関する要望書を手交
- 今年度は、令和8年5月27日（水）に開催予定

【総会】江崎知事による副会長あいさつ（R7.5.28）【要望】中野国土交通大臣に要望書を提出（R7.5.28）



（写真撮影：静岡県）



（写真撮影：愛知県）

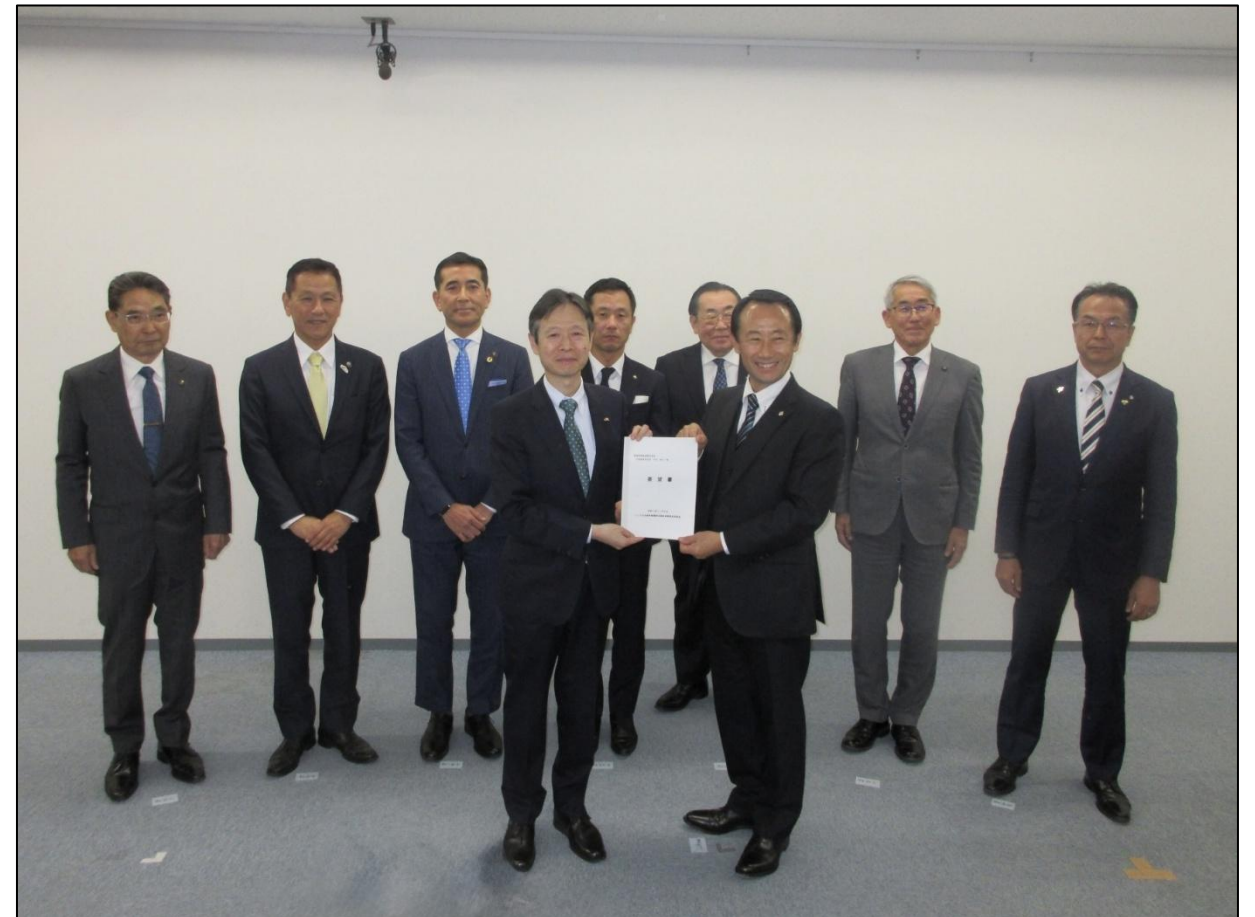
## (5) リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会（県同盟会）

- 昨年度は、令和7年7月に県及び県内22市町村等で構成するリニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会の令和7年度定期総会が、セラミックパークMINO（多治見市）で開催し、リニア中央新幹線の早期実現と利便性向上に向けた決議を可決
- これを受け、令和7年11月、リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会として、知事と沿線7市町の首長が、リニア中央新幹線の早期実現、工事の安全対策、瑞浪市大湫町内で地下水位が低下した事案への対策の推進などについてJR東海へ要望
- 今年度は、令和8年8月3日（月）に、東美濃ふれあいセンター（中津川市）で開催予定。また、同日にシンポジウムを開催予定。

【総会】江崎知事による会長あいさつ（R7.7.14）



【要望】JR東海への要望活動（R7.11.5）



## (6) リニア開業の効果

- 中津川市に岐阜県駅を整備
- 品川と岐阜が58分※でつながり、人やモノの流れが大きく変化
- 名古屋までは13分※、大阪までは45分程度でアクセス可能

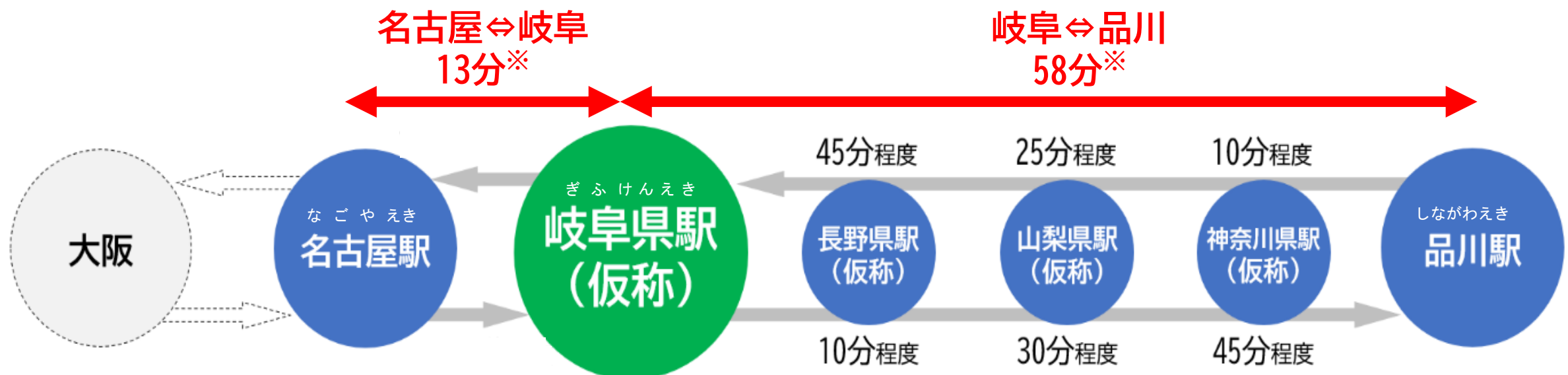
中津川市に「リニア岐阜県駅」ができれば**東京へのアクセスが大幅に向上**

⇒ 岐阜県駅周辺は**東京の通勤圏に**

**名古屋まで**現在60分程度のところが**13分※**に

⇒ **名古屋へのアクセス時間が大幅に短縮**

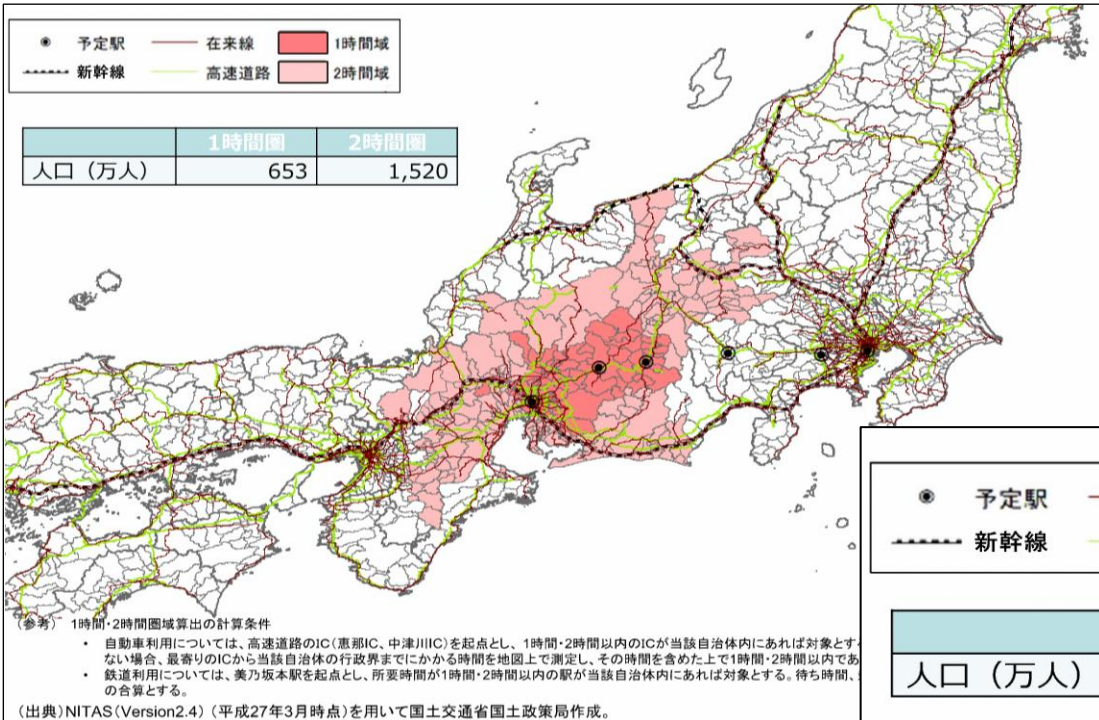
※岐阜⇄品川、名古屋⇄岐阜の所要時間は県の試算



## (6) リニア開業の効果

リニア中央新幹線が開通すれば・・・

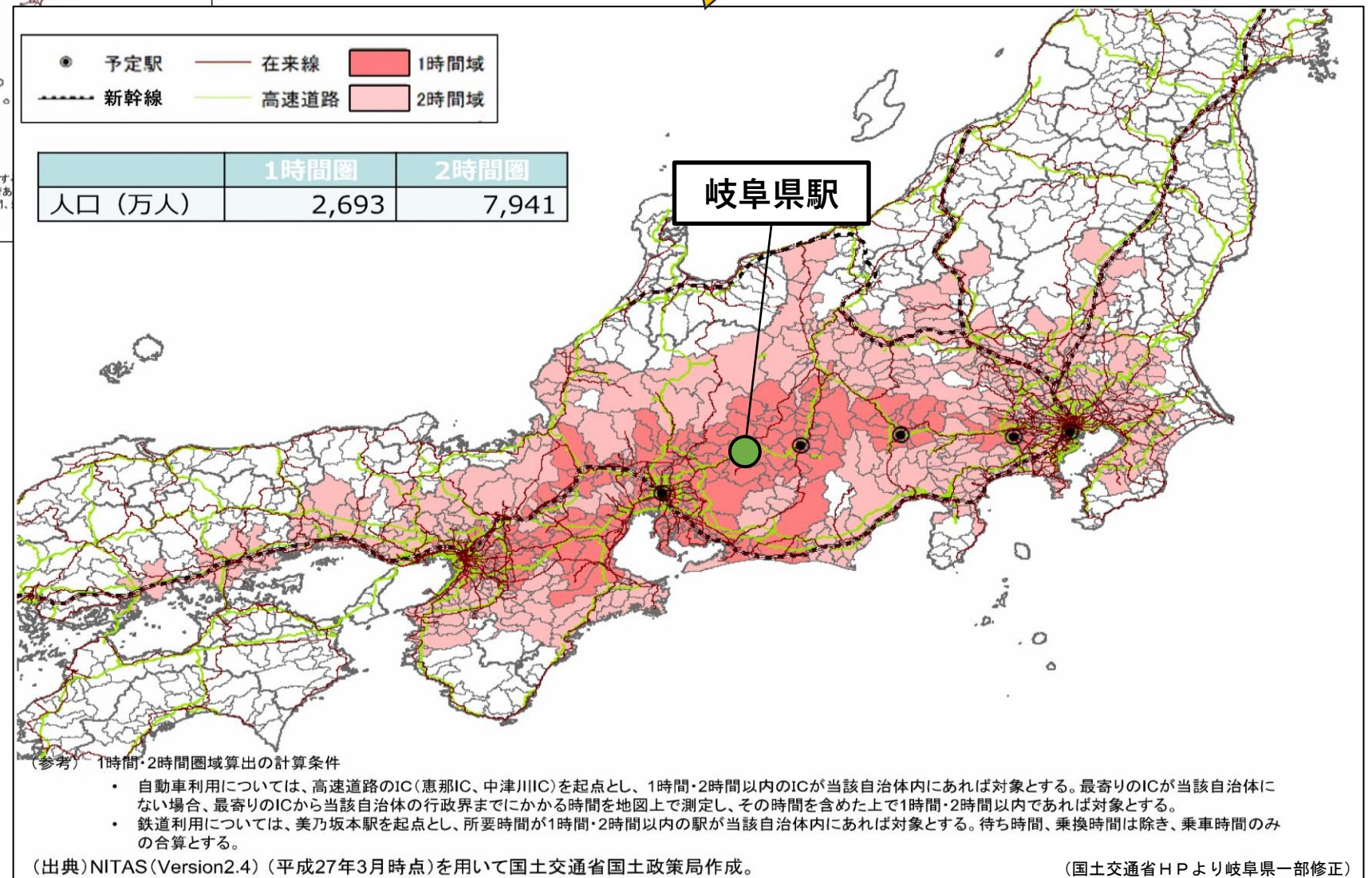
○ 岐阜県駅（中津川市）からの時間距離が大幅に拡大！



【リニア開業前におけるリニア岐阜県駅からの時間距離】

岐阜県駅から  
首都圏・関西圏が  
1～2時間圏内に！

【リニア開業後におけるリニア岐阜県駅からの時間距離】

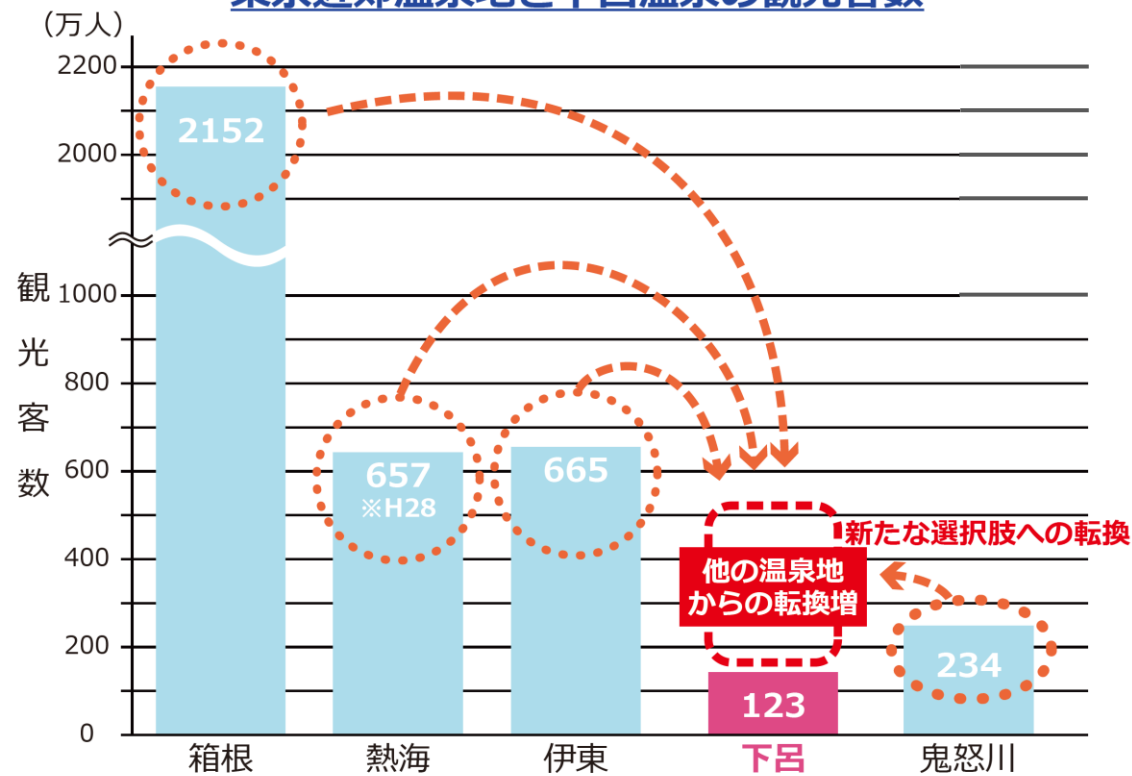


## (6) リニア開業の効果

リニア中央新幹線＋濃飛横断自動車道が開通すれば・・・

- リニア岐阜県駅から日本三名泉の下呂温泉まで車で約50分！
- 徹夜で踊り明かす郡上おどりで知られる郡上八幡へのアクセスも向上！
- 全国的に知名度の高い高山への新たなルートを確認！

東京近郊温泉地と下呂温泉の観光客数



東京からの時間	箱根	熱海	伊東	下呂	鬼怒川
	40分	1時間10分	1時間10分	(リニア+濃飛開通後) 1時間50分	2時間20分

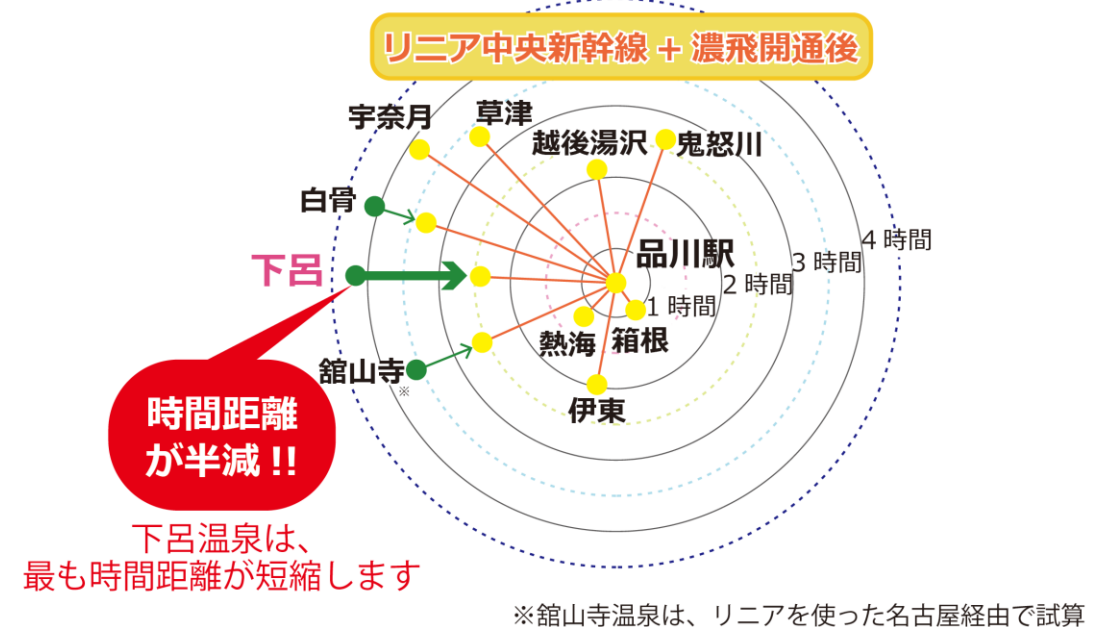
※所要時間は7時に品川駅を出発した場合。  
 ※濃飛の中津川～下呂間は、旅行速度60km/hで算定。

(観光客数出典)

平成29年度栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果(栃木県)、平成29年度伊東温泉観光客実態調査報告書(伊東市)、平成29年版熱海市の観光(熱海市)、平成29年入込観光客総評(箱根町)、平成29年岐阜県観光入込客統計調査(岐阜県)

約1時間50分短縮  
 リニア開業前  
 3時間40分

首都圏から主要な温泉地への時間距離の変化



下呂温泉



郡上おどり

## (6) リニア開業の効果

リニア名古屋駅を利用すると・・・

- リニア開業で品川駅から名古屋駅までは約50分の短縮！（現行最速86分→40分）
- 東濃・可茂圏域だけでなく、その他の圏域も東京からの時間が大幅に短縮！

### リニア開業後の品川駅～名古屋駅～県内各駅までの時間

駅名	現行の移動時間
J R 岐阜駅	1 時間 5 0 分程度
J R 大垣駅	2 時間程度
J R 美濃太田駅	2 時間 2 0 分程度
J R 可児駅	2 時間 2 0 分程度
名鉄新可児駅	2 時間 1 0 分程度
J R 下呂駅	3 時間 1 0 分程度
J R 高山駅	3 時間 5 0 分程度

約50分  
短縮！

リニア開業後の移動時間
1 時間程度
1 時間 1 0 分程度
1 時間 3 0 分程度
1 時間 3 0 分程度
1 時間 2 0 分程度
2 時間 2 0 分程度
3 時間程度

※時刻表を基に岐阜県で推計

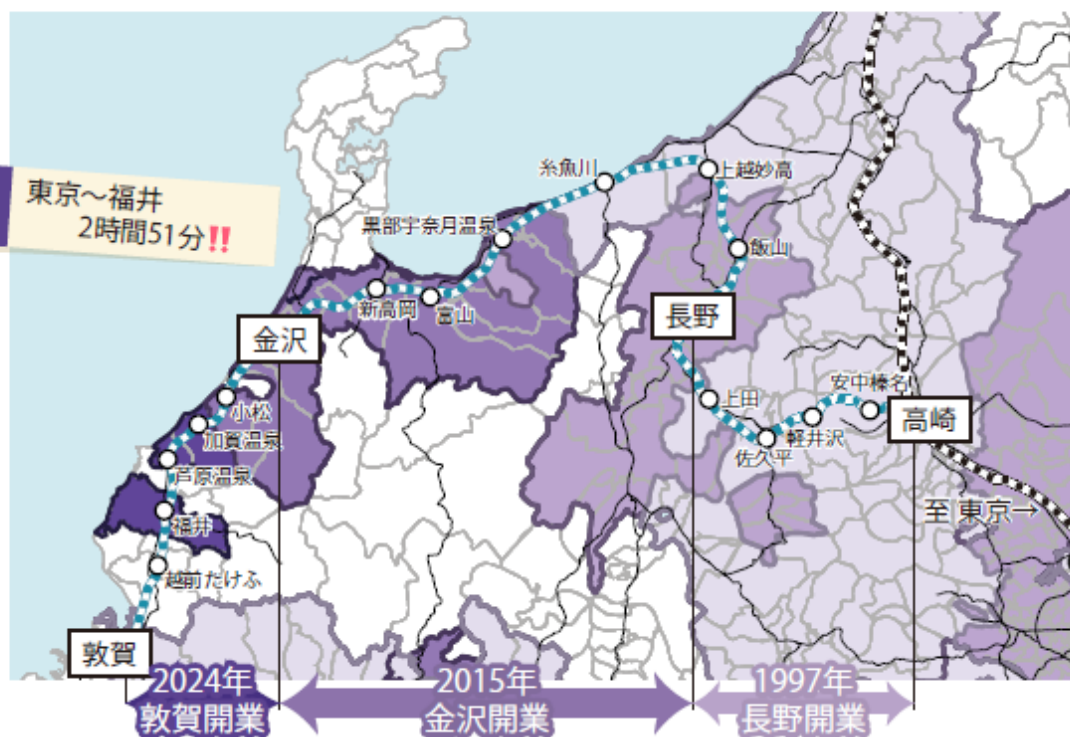
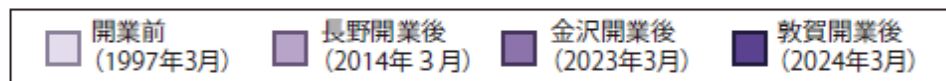
※乗換の時間は除く

※J R 下呂駅、J R 高山駅は特急を利用した場合を想定

# (参考) 北陸新幹線開業の効果【所要時間の短縮】

## 北陸新幹線 (高崎～敦賀)

### ▶ 東京起点の 3 時間圏 の拡大



### ▶ 所要時間の短縮

#### 東京～長野



#### 東京～金沢



#### 東京～福井\*

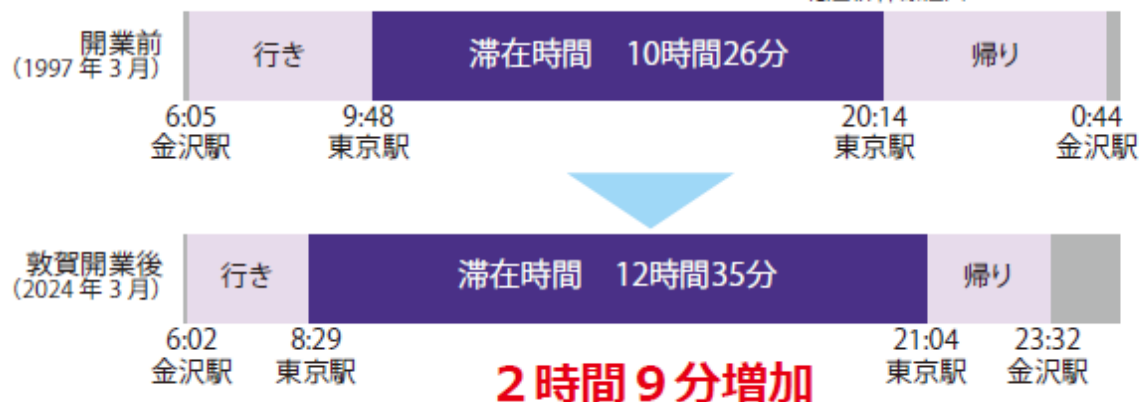
※開業前は東海道新幹線経由(乗換含む)、敦賀開業後は北陸新幹線経由(乗換無)の所要時間



### ▶ 滞在可能時間の増加

(金沢から東京へ鉄道で移動した場合※)

※開業前の行きは越後湯沢経由、帰りは東海道新幹線経由、敦賀開業後は行き・帰り共に北陸新幹線経由



東京から3時間圏の沿線人口  
開業前229万人  
⇒現在 787万人 に増加 ↗

<資料>人口:2020年国勢調査結果より北陸新幹線沿線の都道府県(群馬県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県)を対象とし集計(2024年3月の市町村区分で集計)3時間圏図は各市役所・町村役場から最寄り駅までの所要時間も考慮して作成

# (参考) 北陸新幹線開業の効果【福井県の状況】

## 1 北陸新幹線福井・敦賀開業の効果（開業後1年間の状況）

■本県の注目度が全国的に高まり、また東京と福井が直結したことで、特に関東圏・信越地域からの来訪者が大きく増加。関西・中京圏からも1割前後の増加が見られ、1年間を通して全体で約2割の増加となるなど、概ね順調に推移

福井県内新幹線駅周辺の県外来訪者比較 ※越前たけふ駅除く（県推計値）

地域	開業12か月間 (R6.3.16～R7.3.15 R5.3.18～R6.3.15)			
	来訪者数	前年同期	増減数	前年比
関東圏	120.6	93.3	27.3	129.3%
関西圏	249.2	215.9	33.3	115.4%
中京圏	75.8	72.1	3.7	105.1%
北陸	167.3	147.9	19.4	113.1%
信越	19.7	12.9	6.8	152.7%
その他	58.3	48.3	10.0	120.7%
合計	690.9	590.4	100.5	117.0%

※来訪者数は、いずれもKDDIが保有するビックデータを用いて算出した県推計値で、前年との比較が可能な芦原温泉駅周辺、福井駅周辺、敦賀駅周辺の合計値かつ延べ人数（来訪者数は、福井県民および訪日外国人を除く）  
 関東圏：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、栃木県、茨城県、群馬県  
 関西圏：大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県  
 中京圏：愛知県、岐阜県、三重県  
 北陸：石川県、富山県（福井県を除く）  
 信越：新潟県、長野県

データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」  
 ※auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計しております。  
 ※表の縦横の合計値は、四捨五入の関係で合わない場合がある。



### ■県内全域の主要観光地の入込みも好調

恐竜博物館



124%

一乗谷朝倉氏遺跡博物館



125%

レインボーライン山頂公園



110%

敦賀赤レンガ倉庫



139%

永平寺



129%

※〔比較対象期間〕 ・恐竜博物館：R6.3.16～R7.3.15とH31.3.16～R2.3.15（R5はリニューアルによる閉館のため）  
 ・一乗谷朝倉氏遺跡博物館：R6.3.16～R7.3.15とR5.3.18～R6.3.15  
 ・レインボーライン山頂公園、敦賀赤レンガ倉庫、永平寺：R6.3.16～R7.2.28とR5.3.18～R6.2.29

出典：北陸新幹線福井・敦賀開業後1年間の状況（福井県HP）

## (参考) 北陸新幹線開業の効果【福井県の状況】

### 3 北陸新幹線福井・敦賀開業の効果(宿泊施設・コンベンション)

#### ■開業以降、各地域で宿泊者数が**増加**(特に**関東圏の伸びが顕著**)

○日本人宿泊者数(3~1月)は、前年同期比約**11%増**

※宿泊旅行統計調査

○あわら温泉(10施設)における1日の平均宿泊者数は

開業前より約**17%増**

※FTAS(福井県観光データ分析システム)

○1人あたりの県内消費額(宿泊費含む)は

前年同期比約**15%増**

※ハピネスアンケート(福井県観光連盟)



あわら温泉街

#### ■コンベンション開催実績がほぼ**倍増**(R5:75件 → R6:**140**件)

大規模コンベンション(1,000人以上) 7件 → **12**件

国際コンベンション 4件 → **11**件

県外からは約**3万人**の方が来県(開業~R7.3)



コンベンションの様子

出典：北陸新幹線福井・敦賀開業後1年間の状況(福井県HP)

## (参考) 北陸新幹線開業の効果【福井県の状況】

### 5 チャンスをとらえた官民投資の拡大

#### ■ 新幹線駅周辺への投資が拡大、路線価が上昇

○駅周辺での再開発や大規模投資が今後も継続

まちづくりファンド等により店舗開設など民間投資が拡大

・福井駅周辺 **112件**、敦賀駅周辺 **77件** (R7.3月末現在)

○開業への期待感と駅周辺で進む再開発を背景に**路線価上昇**

・福井駅西口広場通り **8.6%**上昇

※全国5位、過去30年で最大の上げ幅

・敦賀駅前広場通り **3.0%**上昇

#### ■ 宿泊施設の整備やリノベーションが加速

○令和2年度以降、**120軒の宿泊施設**を支援 (R7.3月末現在)

①リニューアル等 (嶺北45軒、嶺南68軒)

②上質な宿の開業等(嶺北 3軒、嶺南 4軒)



氣比神宮エリアの飲食店整備例



歓宿縁 ESHIKOTO (11/26オープン)



サイクリストに優しい宿(敦賀市)

出典：北陸新幹線福井・敦賀開業後1年間の状況(福井県HP)

## （参考）北陸新幹線開業の効果 【富山県への本社機能等の移転状況】

- 開業が富山駅周囲および富山県内における企業集積の活性化を促進する契機に
- 人流の増加や駅近立地の優位性を背景に、本社機能や事業拠点の移転が進んでいる

図表2-5 富山県への本社機能などの移転状況

年月	企業名	概要	移転先
～2016年3月	YKKグループ	本社機能の一部（法務・知財、購買、人事、経理等）移転	黒部市
2013年4月	大平洋製鋼	本社移転、2024年に東京事務所完全閉鎖	富山市
2017年1月	日本カーバイド工業	研究開発部門を集約、「新研究開発センター」を整備	魚津市
2017年5月	陽進堂	本社機能の一部（調査・企画部門）移転、新「管理棟」に集約	富山市
2017年7月	キョーリン リメディオ	研究開発施設「高岡創剤研究所」を整備	高岡市
2017年11月	ゴールドウイン	本社機能の一部（管理・間接部門）移転	小矢部市
2019年9月	リードケミカル	本社機能の一部（管理、営業、海外事業）を富山駅前ビルに移転、本社社屋では研究施設を拡張	富山市
2019年10月	NiX JAPAN	本社建設、オフィス機能集約による業務の効率化、利便性の向上、社員の職住環境改善を目的	富山市
2020年9月	戸出化成	本社工場移転、生産性向上のため生産拠点集約	高岡市
2020年10月	東亜合成	製品開発施設「高岡創造ラボ」を整備	高岡市
2021年10月	石黒建設	創業地に小矢部オフィス整備、本社機能を一部移転	小矢部市
2024年～	各社	2024年竣工のDタワー富山(富山駅北、新築オフィスビル)に移転 ・成和システムエンジニアリング（本社移転） ・日本オープンシステムズ（本社・北陸事業所） ・北陸コカ・コーラボトリング（コラボレーションオフィスTOYAMA） ・ユーコム（本社移転） ・リコージャパン（富山事業所）	富山市
2025年10月	国際電気セミコンダクターサービス	本社移転、管理部門と保守サービスの人員が勤務	富山市
2027年稼働予定	富士フイルム富山化学	国内初のバイオ医薬品製造受託拠点新設、経産省の事業に採択	富山市
2028年完成予定	ほくほくフィナンシャルグループ	本社ビル新築、現在の本店機能に移転	富山市

（出所）新聞報道、各社・富山県ホームページより当行作成

新幹線開業後に県内に新設・増設された工場等の建設投資額が約1,115億円（助成金交付額約58億円）、企業立地による県内への経済波及効果が約567億円と試算（富山県商工労働部）

## 2 リニア岐阜県駅を核とした東濃・可茂圏域のまちづくりについて



【「リニア岐阜県駅を核とした東濃・可茂圏域のまちづくり」の具体的な方向性（令和8年3月公表）】

- リニア中央新幹線が開業することにより、品川駅からリニア岐阜県駅までが約1時間で結ばれ、リニア岐阜県駅をはじめ東濃・可茂圏域は本県の東の玄関口となる
- リニアの開業を見据え、開業までの限られた時間の中でリニアを活用したまちづくりを進めるため、令和7年6月に県庁内に関係部局で構成する「未来のまちづくり検討プロジェクトチーム」を設置し、東濃・可茂圏域の現状分析や、関係する市町村、経済団体、観光団体の計37団体へのヒアリングなどを行いながら検討を実施
- その結果、「国内外から訪れてもらえるまち」、「首都圏・関西圏の生活圏として、働き住んでもらえるまち」、「まちの魅力を高める基盤整備」を3本柱とし、それぞれの目標とその実現のための具体的な施策の方向性を整理し、令和8年3月に公表
- この「まちづくりの具体的な方向性」をたたき台とし、有識者の意見も踏まえたうえで、県内全市町村や産業経済・観光関係者からなる「岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会」において議論し、令和8年度中に「岐阜県リニア中央新幹線活用戦略」を改定

### 1 国内外から訪れてもらえるまち

#### 【目標】

「国内外から訪れてもらえるまち」とするためには、この地域が、東京から1時間弱で結ばれ、トンネルを抜けると「別世界」の体験ができる特別な地域として感動してもらえることが重要となります。

そのため、東濃・可茂圏域から下呂市や郡上市、高山市に至るまで、各地に点在する自然や食、伝統文化などのここでしか体験できない魅力を更に磨き上げ、国内外に発信していくほか、交通ネットワークで各地を結び、周遊性を持たせていく取組を推進します。

#### 【具体的な施策の方向性】

- (1) 地域資源（自然や食、伝統文化など）の発掘・選定・強化
- (2) 農林業体験やアウトドア活動を楽しむ環境整備
- (3) 周遊促進、宿泊場所の創出

## 2 首都圏・関西圏の生活圏として、働き住んでもらえるまち

### 【目標】

「働き住んでもらえるまち」とするためには、生活圏・通勤圏に含まれることとなる首都圏・関西圏の方々から見ても、利便性が高く、魅力的で安心して働き生活できる環境を提供することが重要となります。

そのため、日本の中央に位置し、津波の心配がなく地盤も強固で地震に強いというこの地域が持つ地理的・地形的な優位性と、豊かな自然に囲まれたストレスの無い環境を強みに、先端産業などの研究機関やサテライトオフィス、教育機関などの誘致や、移住・二地域居住の取組などを推進します。

### 【具体的な施策の方向性】

- (1) 移住・二地域居住の推進
- (2) 医療・介護体制の整備
- (3) 子育て支援体制の整備
- (4) 地域を担う人材の育成・確保
- (5) 地域を支える産業の育成・支援
- (6) 先端産業・行政機能等の誘致

## 3 まちの魅力を高める基盤整備

### 【目標】

上記1、2を実現するためには、訪れた人が目的地まで容易にアクセスできたり、働く人・住む人が快適に生活したりすることができるよう、まちの社会基盤を整備することが重要となります。

そのため、この地域らしい景観を有し、機能的で利便性の高いリニア岐阜県駅及び駅周辺の整備、そこへアクセスするための広域道路ネットワークの整備、自動運転なども含めた二次交通の充実等を推進します。

### 【具体的な施策の方向性】

- (1) リニア岐阜県駅及び駅周辺の整備
- (2) リニア岐阜県駅のアクセス道路及び周遊を促進する道路網の整備
- (3) リニア岐阜県駅を起点とした公共交通ネットワークの充実
- (4) 交通拠点の機能強化
- (5) 安全で安心なまちづくり

○「リニア岐阜県駅を核とした東濃・可茂圏域のまちづくり」全体のイメージ図は、P 37のとおり

○まちづくりの3本柱ごとの代表的な施策・事業のイメージ図は、下記のとおり

### 1 国内外から訪れてもらえるまち

1 周遊・体験型観光の推進 … P 38

2 恵那峡の発展 … P 39

### 2 首都圏・関西圏の生活圏として、働き住んでももらえるまち

3 移住・二地域居住の推進 … P 40

4 研究機関・行政機関等の誘致 … P 41

### 3 まちの魅力を高める基盤整備

5 リニア岐阜県駅及び駅周辺の整備 … P 42

6 リニア岐阜県駅を起点とした交通ネットワークの充実 … P 43



# 1 周遊・体験型観光の推進



○ 東濃・可茂圏域の豊かな自然環境や伝統文化、ものづくりを中心とした多様な産業、地域特有の観光資源等を十分に生かし、飛騨圏域や長野県木曾地域などを含む広域的なストーリー性のある周遊・体験型観光プログラムを開発・発信

## 自然

自然・地域資源をいかしたアウトドアスポーツや体験型コンテンツ



リニア  
名古屋駅



## 産業

農業体験



作陶体験(美濃焼)



日本三名泉・下呂温泉



温泉

## 文化

地歌舞伎・芝居小屋巡り



中山道散策、山城巡り



## 歴史

## 2 恵那峡の発展



- リニア岐阜県駅にほど近い恵那峡は、景勝地として名高いものの、観光入込客が減少し、周辺施設の老朽化・廃業も進んでいるため、官民連携により総合的な観光地へ再生する取組を実施

**宿泊**  
新たな宿泊施設の整備に向けた検討が進行中

**恵那峡**  
奇岩・怪石が立ち並び、四季折々の自然を楽しめる景勝地

**食**  
東美濃地域の栗をふんだんに使った「栗きんとん」などが恵那峡ロード沿いに集積

**未定**  
恵那市が活用を検討 (リニア開業を生かした交流人口獲得の拠点)

**恵那峡ワンダーランド** (エンターテインメント)

**恵那峡グランドホテル跡地**

**シアター恵那**

**恵那寿や**

**恵那銀の森**

**恵那川上屋**

**恵那峡ロード**

# 3 移住・二地域居住の推進



○大都市圏にない恵まれた自然環境と、大都市圏への良好な交通アクセスを有する利点を生かし、二地域居住や移住・定住を促進する取組を実施

## 農泊の推進



GIFU-DO農泊（収穫した農作物で風食・八百津町）

## 空き家の活用



ぎふ空き家活用DIYワークショップ（東白川村）

## 移住・定住の推進



ぎふ移住・交流センター



ぎふ暮らし移住フェア

## 空き家の活用



空き家を活用した宿泊施設（御嵩町）

濃飛横断自動車道  
（一部建設中）

中部総合  
車両基地

リニア  
岐阜県駅

馬籠宿

リニア  
長野県駅

長野県

美乃坂本駅

中央自動車道

リニア中央新幹線

リニア  
名古屋駅

愛知県

## 農泊の推進



GIFU-DO農泊（栗きんとんづくり・恵那市）

# 4 研究機関・行政機関等の誘致



○首都圏と関西圏の間に位置し、津波の心配がなく地震に強い強固な地盤や優れた道路ネットワークを生かし、企業や行政、教育機関などの研究・中枢機能を誘致

防災庁の誘致

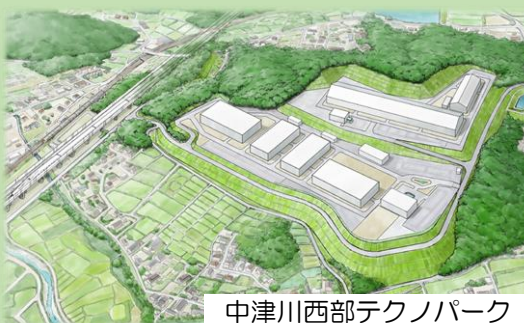
大学など教育機関の誘致

データセンターの誘致



データセンター（イメージ）

本社機能、研究開発機能等の誘致



中津川西部テクノパーク

産業用地の整備



恵那西工業団地



サテライトオフィスの誘致



空き家を活用したカフェ兼ワーキングスペース（中津川市）



サテライトオフィス（恵那市）

**リニアテクノクラスター**  
 リニアの技術に関連する研究開発拠点とリニア関連の高度技術企業の集積を図る

- ・超電導ケーブル製造
- ・モーター制御装置製造
- ・駆動制御システム製造

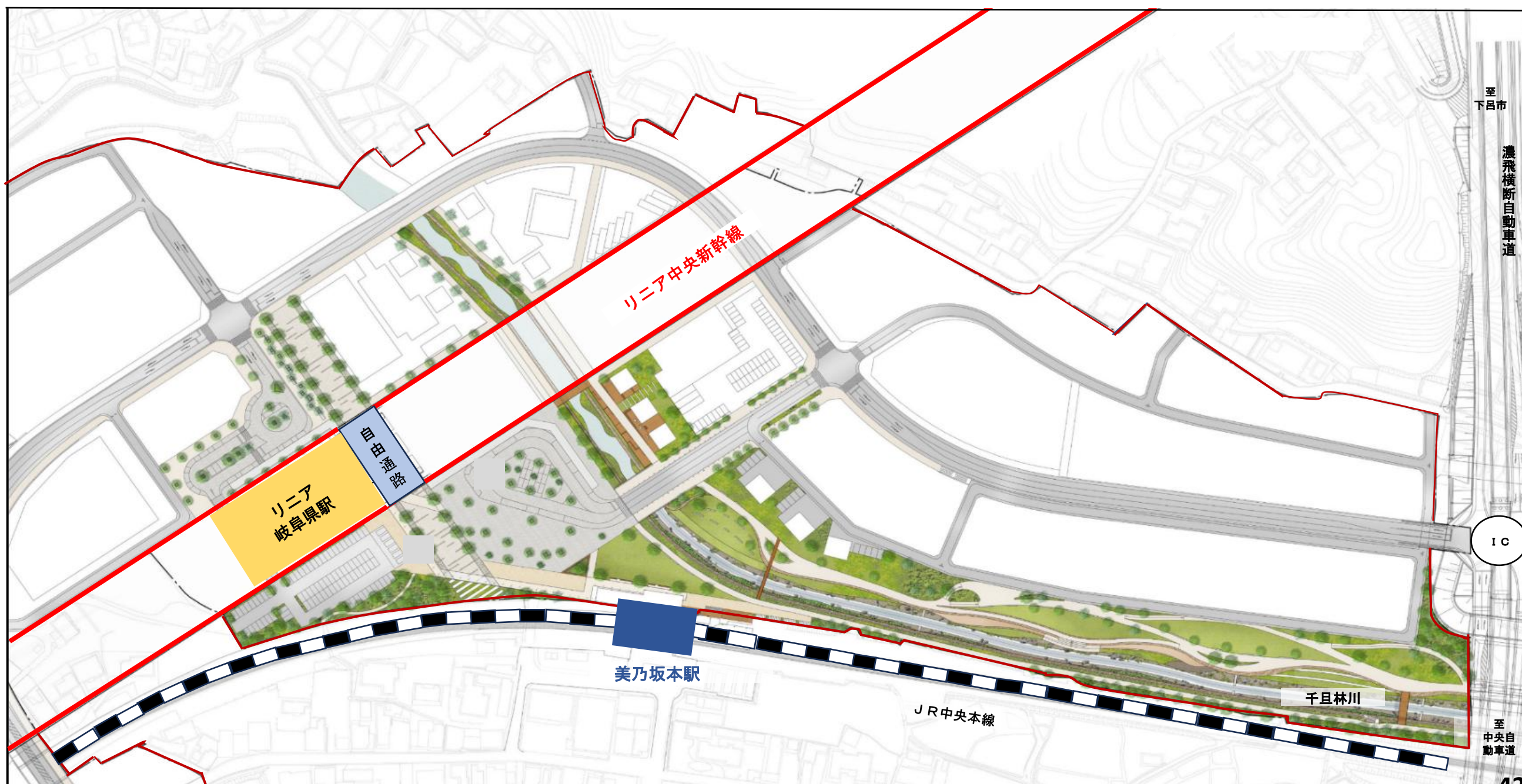
**東濃クロスエリア**  
 東海環状自動車道、中央自動車道及びリニア中央新幹線が交差する地域

# 5 リニア岐阜県駅及び駅周辺の整備



○岐阜県の東の玄関口となるリニア岐阜県駅が、この地域を訪れる人には都会との違いを「別世界」のように感じられ、この地域で働き住む人には快適で利用しやすい場所となるよう、人が集まる賑わい空間及び交通のハブとしての景観・機能を整備

■リニア岐阜県駅周辺エリアデザイン案（中津川市中間取りまとめ【R4.3】）



※エリアデザインは、関係機関との協議・調整中のため、今後変更する可能性があります。

- リニア開業効果を県内各地に波及させるための道路ネットワークの整備や、路線バスの運転士不足を補う自動運転車両の導入など、リニア岐阜県駅を起点として必要な場所に移動できる二次交通を充実

### 自動運転による交通ネットワークの充実（通勤・通学、通院や観光）

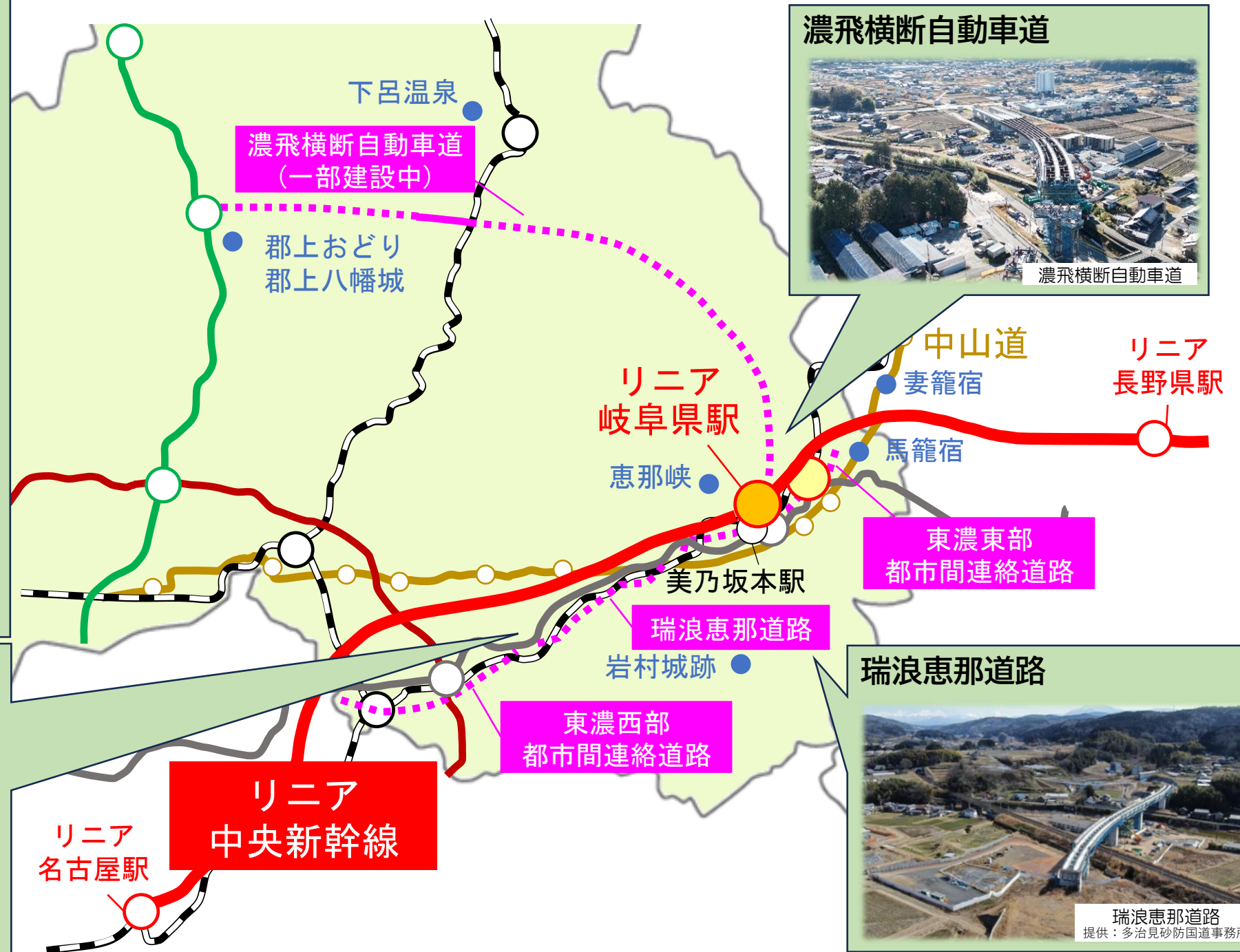


自動運転実証実験

### 交通拠点の機能強化



JR瑞浪駅周辺の整備（イメージ）



### 濃飛横断自動車道



濃飛横断自動車道

### 中山道

妻籠宿

馬籠宿

リニア  
長野県駅

### 瑞浪恵那道路

瑞浪恵那道路  
提供：多治見砂防国道事務所

### 3 岐阜県リニア中央新幹線活用戦略の改定について

#### 《第2次岐阜県リニア中央新幹線活用戦略の改定》

- 令和8年3月に公表した「『リニア岐阜県駅を核とした東濃・可茂圏域のまちづくり』の具体的な方向性」を踏まえ、リニアの開業効果を県内全域に波及させるため、全県的な視点から令和8年度中に第2次活用戦略を改定
- 改定にあたっては、活用戦略の作成主体であり、県、全市町村、産業経済・観光関係者からなる「岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会」において検討を実施
- また、学識経験を有する者等から幅広く意見を聴取するため、「岐阜県リニア中央新幹線活用戦略改定に係る有識者懇談会」を設置（令和8年4月1日）

（参考：岐阜県リニア中央新幹線活用戦略改定に係る有識者懇談会委員）

氏名	役職等	分野
小川 光	東京大学大学院経済学研究科 教授	産業
金室 紀子	中部国際空港株式会社 営業推進本部 航空営業部長	観光
倉内 文孝	岐阜大学工学部 教授	交通
竹内 治彦（座長）	岐阜協立大学経営学部 教授	総括
谷口 綾子	筑波大学システム情報系社会工学域 教授	交通
三井 栄	岐阜大学社会システム経営学環 教授	まちづくり
森下 晶美	東洋大学国際観光学部 教授	観光

#### 【改定スケジュール（予定）】

- ・ 令和8年9月 次期活用戦略骨子案の確定
- ・ 令和8年12月 次期活用戦略原案の確定
- ・ 令和8年12月～ パブリックコメントの実施
- ・ 令和9年3月 第2次リニア活用戦略の改定

## 《会員の皆様をお願いしたいこと》

- 各市町村、団体の施策や戦略・計画等へのリニア開業を見据えた取組や対策の反映
- 次期リニア活用戦略に盛り込むべき内容の検討  
(骨子案及び原案の作成)
- 開業時期を見据え実施すべき施策の検討  
(活用戦略アクションプランの作成)
- リニア開業に向けた機運醸成を図る取組の実施
- 県が実施するシンポジウムや情報発信（SNS）などの  
広報へのご協力

# 《リニアに関するシンポジウム【案】》

## 【目 的】

リニア開業の機運醸成のため、リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会総会に合わせ、シンポジウムを開催予定

## 【日 時】 令和8年8月3日（月）

同盟会総会 : 14:00～14:50

シンポジウム : 15:15～16:30

## 【会 場】 東美濃ふれあいセンター（中津川市）

## 【出席者】

〔関係者〕 350人（県、市町村、中部運輸局、JR東海、関係団体等）

〔一般参加者〕 250人

## 【内 容】

講演及びトークセッションを予定